

わが

「市民力咲き誇る。角田市」 実現に向けて

伊達政宗の次女・牟宇姫が
嫁いだ地

江戸時代、伊達家一門筆頭石川氏が居城し、伊達政宗の次女、牟宇姫が嫁いできたことで知られる角田市は、宮城県の南部に位置しています。1級河川の阿武隈川が南北に流れ、平安時代に建築された



台山公園と中心市街地

宮城県最古の木造建築で国指定重要文化財である高蔵寺阿弥陀堂と、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の研究開発拠点があり、歴史と最新技術のコントラストが魅力のまちです。また、市街地の周りには

田園風景が広がり、トレッキングや野鳥観察を楽しめる山々があるなど自然も豊かです。

現在は日本有数の工業メーカーも進出しておりますが、古くからは米、野菜、果樹、畜産などの農業が盛んなまちであり、農業と工業の調和・共存が図られています。

平成最後の道の駅としてオープンした「道の駅かくだ」や市内の直売所では、米や秘伝豆、梅干しなどの特産品をはじめ、新鮮野菜や加工品を多数販売しています。また、隣接する「かくだスポーツビレッジ」では、野球、サッカー、陸上競技などさまざまなスポーツを楽しむことができます。

宇宙人が出沒するまち・かくだ

市の中心部にある台山公園。そ

の中の小高い丘の上には、高さ49mのH-IIロケット実物大模型が

堂々とそびえ立ち、隣に立つロケットの発射台をイメージさせる展望塔・スペースタワーに登れば、市内を一望することができます。タワーの隣には展示施設のコスモハウスがあり、実物のロケットエンジンや人工衛星の模型など宇宙に関する展示が見られるほか、宇宙つ子テラスでは親子宇宙教室などが開かれています。

なぜ、このように本市が宇宙のまちかというかと、その理由は、本市にJAXAの施設があるからに他なりません。市の北部にあるJAXA角田宇宙センターでは、ロケットエンジンの研究開発を行っており、H3ロケットのエンジン開発においても重要な役割を担っ



宇宙服を着た市長と宇宙人

ています。施設内にある高温衝撃風洞は世界最高性能を誇っており、世界中の研究機関から利用されています。はやぶさ2帰還カプセル展や宇宙飛行士の講演会、アステロイドデーなど、宇宙関連イベントもたくさん行われています。JAXAの研究施設がある全国の5市2町で構成する連邦国家「銀河連邦」にも、「カクダ共和国」として加盟しています。

このように、県内で最も宇宙が身近なまちである本市では、頻繁に宇宙人が出沒します。台山公園周辺や道の駅、さまざまなお祭り、イベントなどにも。そして、本市を盛り上げてくれています。宇宙人のこれまでの活躍、功績に



幼児用遊び場「どんぐりぱーく」

令和3年12月、本市はスポーツ庁が実施する「スポまち！長官表彰2021」をいただきました。前例のない「スポーツ」と「道の駅」の連携から始まる「スポーツによるまちづくり」が評価されての

日本版アクティブシティを目指して

没していますので、ぜひ一度角田市へ遊びにきてみませんか。



受賞者として集合写真に収まる宇宙人（上段右）

対し、令和4年10月に開催した市政功労者表彰式において表彰状を贈りました。毎年5月5日の子どもの日に開催される「かくだ宇宙っ子まつり」や、秋の「はやぶさまつり」には必ずと言っていいほど宇宙人が出

実施しました。主導したのは市内スポーツ団体、施設の指定管理者、道の駅運営会社、仙台大学、市と教育委員会などで構成される地域スポーツ運営組織「スポネットかくだ」です。現在、スポーツを手段に地域課題を解決していく取り組みを市内全域で展開しており、まずは低年齢から運動を楽しむ「かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム」を乳幼児健診時や保育所で実施しています。さらに、次の課題「中学校の部活動のあり方」に関する検討を進めています。

ことです。総合スポーツ施設「かくだスポーツビレッジ」の隣に平成31年4月「道の駅かくだ」がオープンするのを機に、官民が連携し「かくだ版スポーツツーリズム」を考案。（公財）笹川スポーツ財団や仙台大学の協力をいただきながら、三つのテーマ事業「健康×ウォーキング×フードコートでの健康食」「子育て×交通公園を天然芝の幼児遊び場化」「賑わい×スポーツ大会・イベントの誘致・開催」を実施しました。

期総合計画の目指す都市像は「市民力咲き誇る。角田市」。



〔将来都市像〕市民力咲き誇る。角田市。安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち。

〔まちの特徴〕東北の中では雪も少なく比較的温暖、緑が多く自然が豊か、県内で1番宇宙に近いまち

- ◆ 面積 147.53 km²
- ◆ 人口 2万7262人
- ◆ 世帯数 1万1434世帯

プロフィール

民力咲き誇る。角田市。多様な主体が連携し、課題解決のために行動する「スポネットかくだ」は、まさに大きな市民力です。総合計画にも組織のビジョンを盛り込みました。「スポーツ・身体活動を通じた健康まちづくり」アクティブシティ」をテーマとする国際会議でも本市の取り組みが紹介されました。地域課題に即した「日本版アクティブシティ」を本市は目指しています。



〔特産品〕米、秘伝豆、梅干し、地ビール、角田産仙台牛、長いも、梨、ネギ、ブロッコリー

〔観光〕高蔵寺阿弥陀堂、斗蔵山・野鳥の森、四方山、スペースタワー・コスモハウス、道の駅かくだ

〔イベント〕阿武隈リバーサイドマラソン大会、宇宙っ子まつり、ずんだまつり、牟宇姫夏まつり、どんと祭裸参り



第6次長期総合計画都市像ロゴ

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

市民くらし満足度ナンバーワンの
あたたかさあふれる市政を目指して

多彩な「地域の宝」が
人を呼び込むまち

土浦市は、東にわが国第二の広さを誇る霞ヶ浦、西に万葉の世から名峰と謳われた筑波山を臨む、水と緑に恵まれた歴史と伝統のあ

る茨城県南部の中核都市です。

東京から60km圏内に位置し、市内には、J・R常磐線の土浦駅、荒川沖駅、神立駅や、常磐自動車道の土浦北IC、桜土浦ICが整備され、地理的条件や交通利便性にも恵まれています。

また、旧石器時代からの遺跡や、江戸時代に城下町として繁栄した歴史的なまち並みなど、長きにわたる歴史と文化が息づくまちであるとともに、日本一の生産量を誇るれんこんを始めとした農産物の産地でもあり、市ではこうし



土浦全国花火競技大会



霞ヶ浦の観光帆船

た歴史・文化の保存・活用や、農産物のブランド化に積極的に取り組んでいます。

さらに、日本各地の花火師たちが内閣総理大臣賞の榮譽を競う「土浦全国花火競技大会」や、国内最大級のランナーが参加する「かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン」、国の第1次ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、全国に誇れる魅力的な観光資源を有し、それらを活用した地域活性化にも力を入れています。

社会経済情勢の変化に対応した新たなまちづくり

令和4年3月には、市民の皆さまからのご意見も頂戴しながら、社会経済情勢の変化に対応した新たなまちづくりの指針となる「第

9次土浦市総合計画」を策定しました。計画では、誰もが個性と多様性を互いに尊重し、それぞれの夢や希望がかない、生きがいを感じ、その人らしく暮らせるあたたかさあふれるまち、そして、長きにわたる歴史と伝統の中で培われてきた「地域の宝」で本市ならではの魅力を創り出し、人を呼び込み、活気あふれるまちを創りたいという思いを込めて、将来像を「夢のある、元気のある土浦」としました。また、この将来像の実現に向けて、四つのリーディングプロジェクトを定めています。

その一つは、「子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり」です。「かがやけ！土浦の子どもたち」を合言葉に、未来を担う子どもたちが地域とのつながりの中で心身共に健やかに、生き生きと育ち、土浦を故郷として誇りに思うことができるまちを目指して、幼保連携型の「市立認定こども園土浦幼稚園」の整備や、全ての児童生徒へのPC端末の配備な

南丹市（京都府）

南丹市長

にしむらりょうへい
西村良平

わが

南丹市をもっと元気に！地域の個性を生かし希望あるまちづくり

豊かな自然に育まれた文化や歴史などの個性が光るまち

南丹市は、京都府のほぼ中央部、京都市の北西に位置し、北は福井県と滋賀県、南は兵庫県と大



生身天満宮は日本最古の天満宮

阪府に接するまちで、京都府の13・4%を占める面積は616・40km²と淡路島よりやや大きく、その約88%は森林が占める緑豊かな自然に恵まれた地域です。北部を由良川が、中南部を淀川水

系の桂川（大堰川）が流れ、その間に標高100m程度のいくつかの山間盆地が形成されています。

本市は日本最古の天満宮「生身天満宮」や、日本で最後（明治2年）に建てられた「園部城」をはじめ、多くの歴史遺産を有しています。「京都丹波高原国定公園」や重要伝統的建造物群保存地区「かやぶきの里」、名勝「るり溪」をはじめとする豊かな地域資源もまちの魅力です。また、JR山陰本線京都―園部間の複線化や、京都縦貫自動車道などの交通環境の整備により、京阪神への交通アクセスが向上したことから、定住促進や企業誘致を積極的に進めています。農業が盛んな地域であり、「京みず菜」「京壬生菜」など、京野菜ブランドの産地として付加価値の高い農産物が生産されています。



園部城は日本の城郭史上最後の城

お米の生産も盛んで、中でも京都丹波産「キヌヒカリ」は、日本穀物検定協会が発表している米の食味ランキングにおいて、平成28年から3年連続で特A評価を獲得し、天皇陛下の皇位継承に伴う祭祀「大嘗祭」にも献上されました。

Uターン イターン
なんたうん

本市ではこのキャッチフレーズで、定住促進の取り組みを積極的に進めています。定住促進サポートセンターを設けて「空き家バンク」を運営し、空き家の所有者と利用希望者のマッチングを行っています。所有者に空き家バンクへの登録を促した地域団体への支援、地域ぐるみで行う空き家の家財撤去の支援など、地域と協働しながら空き家の掘り起こしも行っています。子育て世帯向けには、Uターンした子育て世帯の住宅購入、新築の支援や、多子世帯や三世帯同居・近居する子育て世帯の住宅改修の支援、新婚世帯の住宅取得、改修、賃借、引っ越しの支援などさまざまな施策により定住促進を進めています。

定住人口を増やすには、働く場の確保が大変重要です。恵まれた交通立地や自然環境、豊富な地域資源を活用し、企業誘致や起業支



重要伝統的建造物群保存地区 かやぶきの里

援、本市ならではの農林水産業・観光産業の振興、六次産業化の推進など、さまざまな産業において働く場の拡大に取り組んでいます。ものづくりの産業拠点「京都新光悦村」では、誘致により多くの企業に立地をいただき、分譲中の区画も残りわずかとなりました。今後も企業に立地いただける環境を整えながら誘致を進め、働く場を確保していきたいと考えています。

「にゃんたん市プロジェクト」始動

定住や交流人口を増やすため多

くの自治体が競い合っています。が、まちの知名度が高ければ高いほど有利です。残念ながら合併時に命名された「南丹市」は発信力に乏しく、インパクトが弱いのが課題です。そこで、失敗を恐れず新しいチャレンジの思いで、「にゃんたん」の発音に近い「にゃんたん」から着想を得て、猫をテーマに市のPRプロジェクトを立ち上げました。

「人にも動物(猫)にもやさしく、愛猫と思い出づくりができるまち」をキャッチフレーズに、猫グッズの開発、地域猫の避妊や去勢手術への補助、ゆくゆくは猫好



「にゃんたん市プロジェクト」始動

きの集合イベントなどを計画していきます。財源は市の一般財源を頼らずに賛同者の寄付(クラウドファンディング、ふるさと納税方式)を活用しています。

一見ふざけた様な企画であり、お叱りを受けそうではありませんが、本市を押し出そうと取り組む関係者は真剣です。市内の企業数社も猫関連特産品(特になん品)を開発して販売を始めてもらって

プロフィール

- ◆ 面積 616.40 km²
- ◆ 人口 3万499人
- ◆ 世帯数 1万4359世帯

〔将来都市像〕森・里・街・ひとがきらめくふるさと南丹市

〔まちの特徴〕京都丹波の豊かな自然の中で育まれた暮らしや文化、歴史遺産などの個性が光るまち

〔市町村合併〕平成18年1月1日、園部町、八木町、日吉町、美山町の4町が合併



南丹市長
西村良平



〔特産品〕米、紫ずきん、マツタケ、壬生菜、水菜、黒豆、小豆、アユ、牛乳、地鶏肉、猪肉、鹿肉

〔観光〕かやぶきの里、芦生の森、日吉ダム、生身天満宮、園部城跡、るり溪、八木城跡、清源寺

〔イベント〕さくらまつり、美山サイクルロードレース、南丹市花火大会、京都丹波トライアスロン大会、もみじまつり、雪灯廊

います。猫好きの人気モデルや吉本興業のお笑い芸人をアドバイザーに委嘱し、PRや資金集めを後押ししてもらっています。

本当に広い市域には数多くの課題がありますが、熱意ある市民と行政が協力して一つ一つ解決の道筋をつけていき、「南丹市をもっと元気に！地域の個性を生かし希望あるまちづくり」を目指してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

自然豊かで、文化薫るまちを
目指して

海あり、山あり、美味あり

備前市は岡山県の東南端、兵庫県との県境に位置し、地域の約80%が山地で構成され、南部の瀬戸内海には大小の島々からなる多島美が形成されており、西部には平野部が広がっています。西端には岡山県三大河川の一つ「吉井川」が流れ、豊かな自然環境に恵まれているとともに、温暖な気候と自然災害の少なさを兼ね備えた過ごしやすい環境にあります。

中心部の伊部地区は、備前焼の里で多くの作家・窯元が軒を連ねており、赤レンガの煙突や土塀を巡らした家など古いまち並みが今も残っています。毎年10月には市最大のイベントである備前焼まつりを開催し、多くの備前焼ファンでにぎわいます。



カキ入りお好み焼き「カキオコ」

南東部の日生地区ひなせでは、春のサワラ、夏のアナゴなど季節ごとの魚が豊富に水揚げされます。中でも、秋の終わりから春にかけて「海のミルク」と呼ぶにふさわしい、大粒でぷりぷりのカキは、山盛りキャベツと生地を混ぜて焼く「カキ入りお好み焼き」、通称「カキオコ」として冬の観光の目玉と

なっています。

北部、三国地区の標高400mの高台にある八塔寺ふるさと村は、八塔寺を中心として古くは山岳仏教で栄えた場所です。昔懐かしい田園風景は、さまざまな映画やドラマのロケ地として登場しています。

三つの日本遺産がある
文化のまちへ

令和4年7月に、北前船寄港地「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」北前船寄港地・船主集落」として日本遺産の追加認定を受けたことにより、市内の日本遺産が、日本初の庶民の学校で江戸時代から学びの精神を伝える「旧閑谷学校」(平成27年認定)と、千年の歴史を有し日本六古窯の一つである「備前焼」(平成29年認定)



特別史跡 旧閑谷学校

と、合わせて三つとなりました。先人たちが残してくれたこれらの遺産群を、観光振興のみならず、市の文化的な魅力発信につなげていきたいと考えています。

備前焼の魅力を海外へ発信

備前焼は、伝統工芸品と美術品の両方の顔を持ち、須恵器すえきの技術を受けて平安後期頃に成立したといわれています。釉薬ゆうやくをかけず、じっくり高温で焼き締めるのが特徴で、桃山時代には、堺・京都の茶人に愛されたことから、名品が数



北前船寄港地フォーラム (ルーブル美術館)



六古窯 備前焼

備前焼の歴史や魅力を紹介し、

多く作られ、茶の世界で「わび・さび文化」の代表的な存在として一躍有名になり、これまで5名の人間国宝を輩出しています。

伝統ある備前焼ですが、近年は生活様式の変化などによる販売不振が続く、追い打ちをかけるように、新型コロナウイルス感染症拡大による、観光需要、インバウンド需要が激減してしまいました。

このような状況を打破するため海外にも目を向け、令和4年10月にフランス・パリで開催された、北前船寄港地フォーラムで

大きな反響を得ることができました。その成果として、パブロ・ピカソが作陶した陶器を収蔵しているピカソ美術館を有するフランス・ヴァロリス市から、市立備前焼ミュージアムのリニューアールオープン記念企画展に、作品を貸与いただくなどの交流が始まる予定で、ヨーロッパにおける足掛かりができたと感じています。

今後、欧米に向けて認知度の向上や海外需要の開拓を行うことで、新たな収益構造の確立や交流人口・関係人口の増加を促進していきたいと考えています。

合併20周年に向けて

本市では、令和6年度の合併20周年に向け、老朽化した施設のリニューアルを進めています。

一つ目は、市立備前焼ミュージアムです。新たな備前焼ミュージアムは、備前焼の歴史を語り、人間国宝などの作品を展示する常設展示場と、作家が個展を開くことが可能なスタジオに加え、市民ギャラリーを設置する予定です。

二つ目は、新図書館です。基本理念を「すべての市民が多様に使うサードプレイス 市民参加でまぶ

プロフィール

新しい図書館」として、多種多様なアクティビティと融合する図書館にすることで、さまざまな人の居場所になることを目指しています。

三つ目は、旧商業施設を減築・リニューアールした複合施設です。市民が集まり、憩いの場となるような施設を目指し、子どもたちがおもちゃで遊べる「おもちゃ広場」や「こども図書館」のほか、「福祉協議会」などの福祉機能、ま

た、防災用備蓄庫や一次避難所などの防災機能を備えた、市民の学習活動や地域文化創造の交流拠点を目指しています。

人々が交流することが難しい時期が続いてきましたが、ウィズコロナの時代を迎え、子どもからお年寄りまで、みんなが集い・交流し、市の魅力発信ができるような、本市の未来を象徴する施設となるよう取り組んでいます。



備前市長 吉村武司

〔市町村合併〕平成17年3月22日に、

〔将来都市像〕豊かな、自然と文化、魅力あふれる、まち、活気ある、ひと、それが備前

〔まちの特徴〕備前焼、旧閑谷学校など歴史が息つき、波穏やかな瀬戸内海に面し、緑豊かな山々に囲まれた自然豊かなまち

- ◆ 面積 258.14 km²
- ◆ 人口 3万2061人
- ◆ 世帯数 1万5464世帯



旧備前市、日生町、吉永町の1市2町が合併

〔特産品〕備前焼、カキオコ、カキ、サワラ・アナゴなどの海産物、白桃、ブドウ、ミカンなどのフルーツ

〔観光〕伊部のまち並み(備前焼の里)、旧閑谷学校、八塔寺ふるさと村、瀬戸内海国立公園(日生諸島)

〔イベント〕備前焼まつり、旧閑谷学校ライトアップ、ひなせかき祭、源平放水合戦、田倉牛神社大祭

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。